

「^{さと}いやしの郷・^{まち}にぎわいの郷 豊かさを実感できるまち 美郷」をめざして

美郷のまちづくり町民アンケート調査結果をお知らせします

平成26年度に策定したまちづくりの基本的な指針となる「第2次美郷町総合計画」は、まちづくりの将来像「^{さと}いやしの郷・^{まち}にぎわいの郷 豊かさを実感できるまち 美郷」を実現させるために、主要事業を示した「行動計画」に取り組み、今年度が前期期間の最終年度になっています。

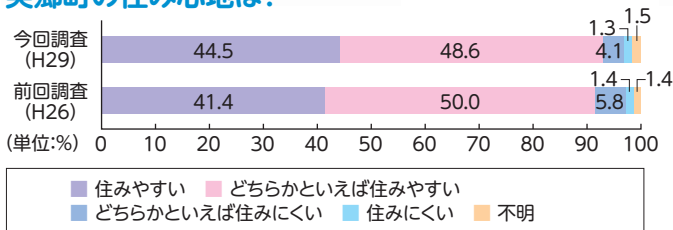
これまでに進めてきた諸施策に対する町民満足度およ

びこれからの必要性を把握し、平成30年度を初年度とする後期期間における「行動計画」策定の基礎資料とすることを目的として、「美郷のまちづくり町民アンケート調査」を実施しました。

このたび、調査結果がまとまりましたのでお知らせします。また、町ホームページにも「調査結果報告書」を掲載していますので、詳しくはそちらをご覧ください。

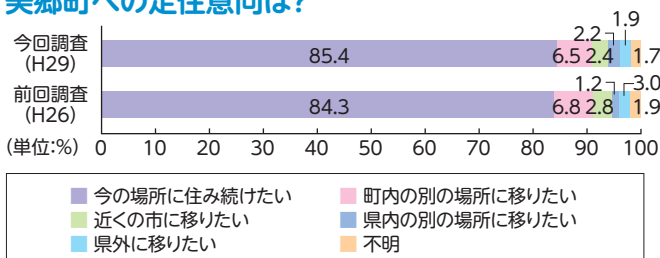
町全体に関する調査結果について

美郷町の住み心地は？



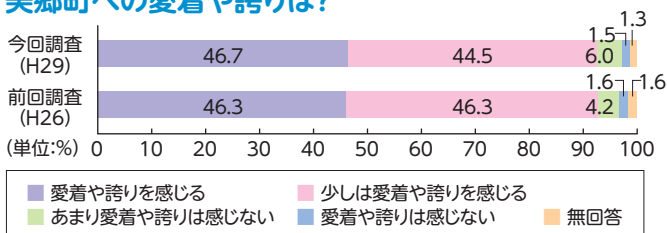
「住みやすい」と答えた方が44.5%、「どちらかといえば住みやすい」と答えた方が48.6%で、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方が93.1%と前回より1.7ポイント増加しています。

美郷町への定住意向は？



「今の場所に住み続けたい」と答えた方が85.4%と最も高く、前回より1.1ポイント増加しています。また、「県外に移りたい」と答えた方が1.9%で最も少なくなっています。

美郷町への愛着や誇りは？



「愛着や誇りを感じる」「少しは愛着や誇りを感じる」と答えた方が91.2%で、「あまり愛着や誇りは感じない」「愛着や誇りは感じない」と答えた方が7.5%となっています。

総合計画について

「総合計画」は、本町の目指す姿と町政経営の方向性についての基本的な指針となります。

美郷町の総合計画は、「基本構想」「行動計画」の2編で構成しています。

■基本構想

期間：7年（平成27年度～平成33年度）

本町のまちづくりの長期的な指針。まちづくりの将来像とこれを達成するための基本理念、施策の大綱を示すもの。

■行動計画

期間：前期3年（平成27年度～平成29年度）

後期4年（平成30年度～平成33年度）

基本構想に基づくまちづくりの計画。まちづくりの分野ごとに施策の展開方向と施策を実現する主要事業を示すもの。

調査概要

調査区域 ● 美郷町全域

調査対象 ● 住民基本台帳による地区ごと、男女ごと、年代ごとに等間隔無作為に抽出された満18歳以上の町民(1,000人)

調査方法 ● 個人あての書面郵送による調査（回答は無記名）

調査期間 ● 平成29年6月1日～6月15日

回収数 ● 465通（回収率：46.5%）

その他 ● 集計結果は票実数または小数点第2位を四捨五入した百分率（%）で表示しています。四捨五入の誤差により、構成比の合計が100%にならないことがあります。

アンケートの回答者について

男女別 ● 男性 208人(44.7%)、女性 251人(54.0%)、不明 6人(1.3%)

年代別 ● 70代以上 120人(25.8%)、60代 112人(24.1%)、50代 84人(18.1%)、40代 62人(13.3%)、30代 42人(9.0%)、10・20代 40人(8.6%)、不明 5人(1.1%)

アンケート調査へのご協力ありがとうございました

次ページからは施策項目ごとの調査結果をお知らせします

【満足度】 ● 満足 ● やや満足 ● やや不満 ● 不満 ● 不明
 【必要性】 ● 必要 ● やや必要 ● あまり必要ない ● 不要 ● 不明

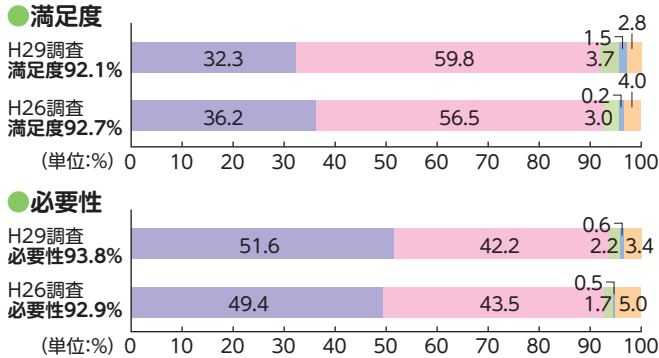
目標2

自然がかがやく

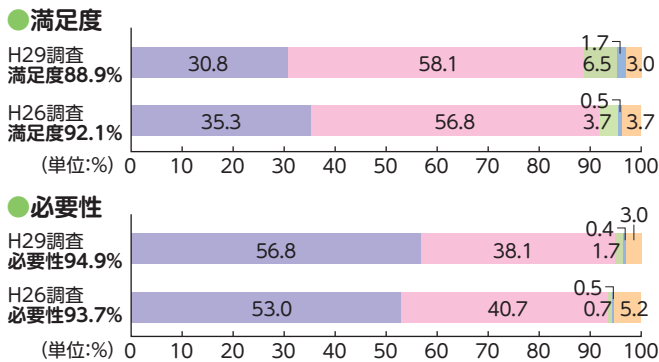
— 豊かな環境がひろがるまち —

- ◎自然への環境負荷の軽減を図るため、環境保全の取り組みを推進していくことが必要です。
- ◎本町の生活や観光にとって貴重な水環境を保全していくため、植樹や涵養林の整備等を推進していくことが必要です。
- ◎ごみの減量化や資源化を図るため、廃棄物のリデュース(ごみを出さない)、リユース(物を繰り返し使う)、リサイクル(資源として再利用)を推進していくことが必要です。

環境の保全状況について



廃棄物減量化について



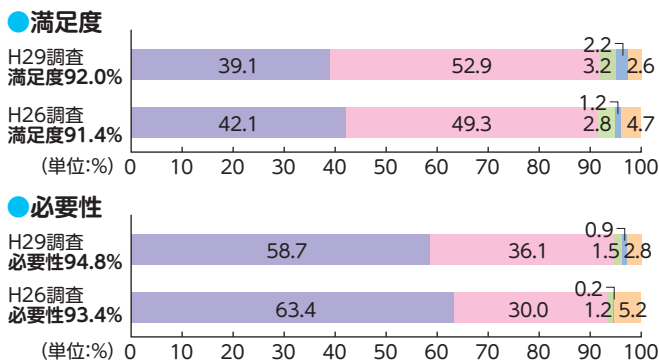
目標3

心身がやすらぐ

— 豊かな心で健やかに過ごせるまち —

- ◎住民の心と体が健康でいきいきと生活できるようにするため、セルフケアによる健康づくり活動を推進していくことが必要です。
- ◎在宅高齢者が安心して生活できるため、関係機関や地域が連携して支える地域包括ケアの体制を推進していくことが必要です。
- ◎住民が健やかに暮らせるため、地域福祉力の向上を推進していくことが必要です。

健康生活の推進状況について



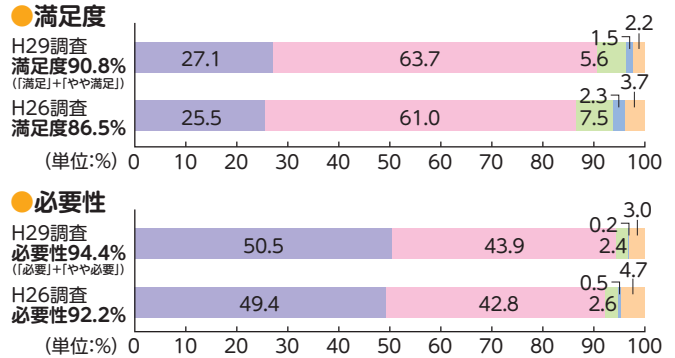
目標1

生活がうるおう

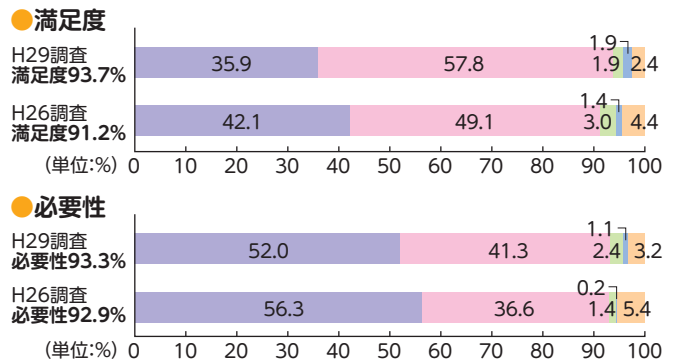
— 快適さを実感できるまち —

- ◎道路や上下水道などの生活基盤を快適に利用できるようにするため、効率的かつ効果的な維持と整備を推進していくことが必要です。
- ◎冬季間の安全な交通を確保するため、効率的な除雪体制の構築と運用を推進していくことが必要です。
- ◎町営住宅の適正な管理を進めるため、老朽化が進む町営住宅の今後の在り方や、空き家の利活用を検討していくことが必要です。

道路交通体系の整備状況について



上下水道の整備状況について



住宅環境の整備状況について

